

校地内の植物について

柿 本 顕 敬

昭和38年の新校舎当時の航空写真をみると、荒地にはつんと真新しい校舎がおかれ、緑の少ない寒々とした風景に接する。ところが、20余年経た今日では、緑化の整備がすすめられ、美しい緑に囲まれた暖かな風景をもつ校地になっている。これは多くの方々の緑化に対する関心の深さと実行によってなされたものである。

本報告は校地内にどんな植物が育っているかを調べて今後の変遷の資料にすること、また、野外学習の教材作成の目的で不完全ではあるが、一応まとめたものである。調査は植物の種類と胸高直径の測定だけにとどめ、生態については今後調査する予定である。尚、植物標本は保存しており、生態はスライドフィルムにして逐一整理しておくので、利用して頂ければ幸いである。

概 況

校地は三角山麓の緩やかな斜面地から平坦部に移ったところに位置している。昭和35年新校舎起工以前の環境は、水田と低湿地帯の荒地であった。近くの琴似川は蛇行しており、台風時期の大雨によって時には氾濫原にもなった。この荒地がトラック約2,400台分の廃棄コンクリート片、残土等によって客土され、暗渠も加わり地盤の整備がなされた。校地が予想外の悪条件であったため、工事完成が遅れたと当時の記録に残されている。現在でも、地面は堅く、表層土は浅く、掘り起すと鏝で占められている。しかも水はけが悪く、植物の生育には良い土質ではない。生育している植物は、ふつう荒地や道ばたにみられるものがほとんどで、豊富ではない。南側の溝辺を除けば、乾途・陽生の植物が大部分である。また植栽されている樹木の生育も悪く、幼木のうちでは枯死かかっているものもみかける。今回の調査で記録した植物は165種で、そのうち栽培種は46種である。校地周囲にイタリヤポプラが植えられ、フェンスをつくっている様相は本校の特徴である。高さ15~20m、胸高直径10~60cmのもの136本あり、枝を広くひろげて密植されている。初夏、大きな葉をつけ樹冠をのびた姿は見事である。しかし、この樹種は成長がはやいのである程度育つと整枝が必要とされている。特に本校では、住宅が接近しているので、風が強いときの枝・葉の揺れ音の影響や倒木の危険が予想される。将来整枝や間引が必要である。

今日までに植樹された状況を創立60周年記念誌その他から抜粋してみる。

37. 4. 23 旧職員大塚英雄氏、トドマツの苗木200本を寄贈。
38. 6. 12 グラウンド工事が一段落し、グラウンド開きを行う。
38. 6. 15 石狩支庁、イタリヤポプラの苗木300本を寄贈。
38. 10. 12 二中11期生、卒業3・6周年記念植樹、生徒玄関前にナナカマド11本、正面玄関前にシラカバ11本。
39. 5. 12~18 生徒会長が校地緑化を提起し、作業開始。プール北側及び校舎東側にシラカバ、サク

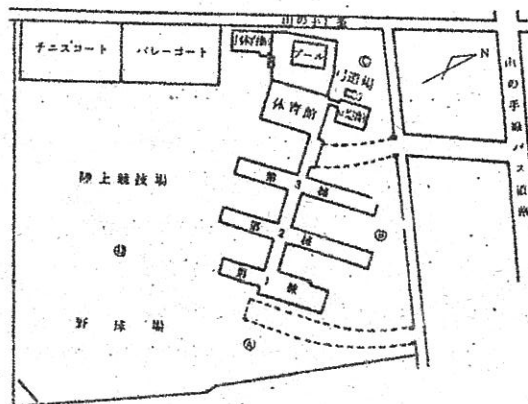
ラなど、周囲にはイタリヤポプラを植樹。総数370本。この期間中父兄、職員二中会、カツラ、エゾヤマザクラなど130本寄贈。その後、中庭の花壇作り、フラワーボックスもおかれる。

- 40. 5. 8~10 1年生が約400本を植樹。
- 9. 10. 17 台風襲来。琴似川が氾濫し校地が冠水。校舎の一部水没。
- 10. 5. ~6 琴似川の掘り下げ工事のため、イタリヤポプラをプール北側へ集中移植。
- 41. 4. ~5 地盤整備。6トン積トラック1,200台分の土が運ばれ、約50cm地盤をかき上げる。
- 41. 5. 26 1年生がプール北側のイタリヤポプラ、シラカバ約70本をグラウンドの周囲に移植。
- 43. 5. グラウンド側中庭3面に肥沃土が客土され、クローバー、ケンタッキーブルーグラスを播種して芝生を造成。
- 45. 5. 生徒有志の手で花壇が作られていたが、業者によって完成。
- 46. 正面玄関前の整備。花壇造成。
- 47. 48. 北側、東側の整備。芝生造成。
- 49. 1. 9 輔仁会、前庭に戦没者記念碑建立。
- 1. 9 教育施設振興会、門2個及び囲障（フェンス）209.8m寄付。
- 50. 5. 同会、北側フェンスにバンクスマツ21本植樹。
- 52. 7. 28 輔仁会創立60周年記念として、生徒玄関前庭に佐藤忠良氏（二中14期）作のブロンズ像“蒼穹”を建立。
- 53. 5. 30 二中22期生、卒業40周年記念植樹、弓道場付近にハルニレ11本、カツラ11本。
- 54. 10. 31 二中13期生、卒業50周年記念植樹、前庭にヤエザクラ13本。

別表には現在みられる樹木の種類と胸高直径及び本数を示したが、これと上記の記録を比較すると枯死、間引きなどの消長がうかがわれ興味深い。今は大部分が幼木である。やがて大きく成長して緑豊かな樹冠になるのであろう。将来が楽しみである。

校地を植生の状況から、下図のようにA・B・C・Dの4区に分けた。

校地校舎配置図



以下各区を概説する。

A 区

正門から玄関までの道路を境にした東側一帯で前庭の部分である。花壇は4面、赤味を帯びた石英安山岩で囲まれている。教室前の花壇は5年前から園芸クラブの圃場になっている。その他の花壇にはイチイ(オンコ)、フジ、エゾムラサキツツジ、サツキツツジ、ドウダンツツジ、ヒノキ、サワラ、シノブヒバ、クロッカス、チユウリップ、ユリ類、キリンソウ、コスモスなどが植栽されている。前庭の芝生は良く手入れされ、ケンタッキーブルーグラスの生育が良い。その部分にはエゾヤマザクラ、シラカバ、オウシュウクロマツ、ヤマモミジ、ウンリュウヤナギなどが大きく育ち、盛夏には日陰をつくる。ヤエザクラは植えたばかりでまだ幼樹である。東側フェンス際には、直径4cm程のイチョウが44本一線に植えられている。花壇の中や周囲の雑草では、オーチャードグラス、オオバコ、ヒメスイバ、キレハイヌガラシ、ヒメムカシヨモギ、ノボロギク、スベリヒユなどが目立つ。

B 区

校舎北側で、生徒通路までの一帯である。この区のイタリヤポプラは12本、高さ19~21m、胸高直径26~58cmで、他の区のものとは比べ最も大きく育っている。フェンス際には、バンクスマツが21本あり、クリ、サクランボなどが実をつけている。北門近くには、めずらしくハマナスが花を咲かせている。“蒼穹”の像近くの三角地帯には、ユキヤナギ、レンギョウなどを生垣としてヤブネコヤナギ、ナナカマド、ヤエザクラ、ヤチダモ、イタヤカエデ、ベニシダレ、ボケ、アガマツ、エゾマツ、アカエゾマツ、トドマツなどが密植されている。一部を他に移植して整える必要がある。正門近くの道路わきには、所謂、ポプラ並木のクロポプラが3本スマートな枝ぶり立っている。校舎の壁際には、オニノゲシ、ノゲシ、ヤマハハコ、イヌタデ、ツユクサ、クサノオウ、カタバミ、ハコベ、エゾアカバナなどが生え、日当りの良いイタリヤポプラ下には、セイヨウタンポポ、タンポポモドキ、ヒメジョオン、ヒメムカシヨモギ、エゾノギンギシ、ミチヤナギ、トゲチシャ、アレチマツヨイグサ、オーチャードグラスなどが目立つ。フェンス際には、3年程前からオオアワダチソウが増えきたが、内部にはまだ広がりを見せていない。玄関前にオオハンゴンソウが入りこんでいる。

C 区

生徒通路から西側、記念館、弓道場、小体育館付近の一帯である。西側フェンスから小体育館南側にかけてイタリヤポプラが42本、胸高直径10~52cmのものが育ち、フェンス際には、カツラ11本、ハルニレ11本とイチョウ15本の幼木が列条している。これらの幼木は育ちが悪く、枯死かかったものが目立つ。弓道場際には、ストローブマツが密植されたため成長がおさえられている。その他に、めずらしくウンリュウヤナギが1本玄関前に孤生し、ニワウルシがフェンス際に自生している。前B区よりもオオアワダチソウが多い。下草は、手入れされるので種類が少ない。西側のイタリヤポプラ下にはナワシロイチゴがからみつき、コンフリーが増えつつあるし、ササが出てエゾヨモギ、オオイタドリ、トクサなどが雑然としている。

D 区

グラウンド全体と中庭三面を含む部分である。南側境界には、イタリヤポブラが82本、一部は二重に列生している。高さは他の区と比べてやや低く、胸高直径は10~54cmと幅が広い。前述したように労力や経費はかかるが、整枝や間引きが必要である。テニスコート際にはニセアカシア30本一列に、東側にはシラカバが46本条列している。中には枯死または枯死かかったものがある。南側の溝辺とバックネット裏の植生は他の部分と違う。ミゾソバ、アキノウナギツカミ、キタヨシ、ナガバヤナギ、コリヤナギなどやや湿性のものがみられる。グラウンドの露出以外の部分には、クローバー、ケンタッキーブルーグラス、オオバコ、ヘラオオバコ、ヒメスイバ、タンポポモドキ、ノボロギク、ナズナ、スウロソウ、メヒシバなどがあり、所謂、踏み草となったり、ロゼット型にのびていじけた生育のしかたをしているものがほとんどである。この部分は、生育型を観察する上に良い教材となる。三面の中庭の芝生は良く手入れされているが、雑草としてタンポポが侵入している。だが、5月に一斉に咲きそろった風景も又格別である。花だんが二面あり、保健委員会の手入れでチュウリップを咲かせている。

次に生育中の植物名をあげ、生物教材にもなるので、これらの主な特徴を記載する。()内には分布する区を示す。*は栽培種である。

被子植物門 — 双子葉植物綱 — 合弁花亜綱

キク科

ヤマハハコ (山母子) (B区) *Anaphalis margaritacea* BENTH. et Hook.

茎は30~80cmで直立、綿毛を密生。葉は線状皮針形で裏面は白い綿毛を密生。ハハコグサ(春の七草のオギョウ)に似ていて山に生えているのでこの名がついた。

ノブキ(野路) (B、C区) *Adenocaulon himalaicum* EDGEW.

葉はうすく三角状心臓形、裏面には白い綿毛を密生。葉柄には翼をつける。花茎をフキノトウという。

ゴボウ (C区弓道場近く) *Arcticum lappa* LINN.

畑地から逸脱して野生化したもの。紫紅色の花で、果実にかぎ状の突起があるので衣服などにつきやすい。

エゾヨモギ(オオヨモギ、蝦夷蓬) (全区) *Artemisia montana* PAMPAN.

ふつうにみられるヨモギで茎は高く、太い。若芽は白毛密生、ヨモギもちの原料にする。葉裏も灰白色の綿毛密生し、この毛から灸に使うモグサがつくられる。

エゾノコンギク(蝦夷野紺菊) (全区) *Aster ageratoides* form. *yezoensis* OHWI

秋の道ばたを色どる美しい淡紫色の菊。茎は高さ50~100cmで分枝。葉は長だ円形で両面に堅い毛があつてざらつく。花は茎の先につき、中心部の筒状花は黄色、周囲の舌状花は淡紫色。

エゾゴマナ(蝦夷胡麻菜) (B区頻度低い) *Aster glehnii* FR. SCHM.

高さ1~1.5m、茎は粉状の細毛があつてざらつく。葉は両端のとがった長だ円形、表裏とも細毛を密生。筒状花は黄色、舌状花は白色。

* コスモス(アキザクラ)(A区) *Cosmos bipinnatus* CAV.

メキシコ原産、明治10年頃渡来。花色が淡紅・深紅色などの品種がある。Cosmosはギリシャ語で「飾り、美しい」の意味である。

* ダリア(天竺牡丹)(A区) *Dahlia pinnata* CAV.

メキシコ原産。多数の品種がある。

ヒメジョオン(姫女苑)(全区) *Erigeron annuus* PERS.

北米原産。非常に繁殖力が強く、最もふつうな雑草。7~10月に咲く舌状花は白色~淡紫色。

ヒメムカシヨモギ(姫昔蓬)(全区) *Erigeron canadensis* LINN.

北米原産、明治初年に渡来し、各地の原野、荒地、道ばたなどいたるところに生えている。鉄道に關係してひろまったという意味で鉄道草ともいう。茎は高さ50~150cm、葉とともに粗毛がある。葉は線形で白花。

タンポポモドキ(ブタナ 豚菜)(全区、特にB区) *Hypochoeris radicata* LINN.

ヨーロッパ原産。荒地や道ばたに最近目立ってきた。タンポポに似ているのでモドキがついた。花茎が分枝、葉はすべて根生、両面とも黄褐色の硬毛を密生。頭状花は黄色。芝生にはやっかいな雑草である。

トゲチシャ(アレチジシャ)(全区) *Lactuca scariola* LINN.

ヨーロッパ原産、近年渡来し、広く雑草化して荒地や道ばたにひろがりつつある。茎は高さ1~2mで無毛。葉は斜上して開出しない。葉の下面中央脈上に刺が列生。頭状花は黄白色、8~9月に開花。果実のへりにだけ刺毛を列生。

オオハンゴンソウ(大反魂草)(B区) *Rudbeckia laciniata* LINN.

北米原産。近年鉄道の沿線や原野の道ばたに群生してきた。本校地ではまだ目立たない。高さ1.5mにもなり大形。花は茎の先につき黄色、中央が黒いのが特徴。繁殖力が強い。

ノボロギク(野薔薇菊)(全区) *Senecio vulgaris* LINN.

ヨーロッパ原産、明治初年に渡来。道ばた、畑、庭先に密生し、繁殖力が強い。高さ10~40cm、茎葉とも軟かい。葉は互生して羽裂。花は黄色。開花の姿がほろ切れを集めているように想像され、この名がついたという。

オオアワダチソウ(大泡立草)(全区、特にB・C区)

Solidago gigantea AIT. var. *leiophylla* FARN.

北米原産、戦後に渡来。繁殖力が極めて強い。空き地に大群落をなして急速にひろがりつつある。満開のときは黄色一色で美しいが畑地の害草である。茎は高さ1~2m直立し、無毛平滑、白粉をおびる。葉は短い柄があって無毛、ざらつかない。花が泡のように咲くことの意味で名がついた。類似のセイタカアワダチソウは茎と葉に短かい毛があってざらつく。葉柄はなく遅咲きである。

オニノゲン(全区、校舎の壁際) *Sonchus asper* HILL

高さ50~120cm、茎は軟かく太く中空で稜がある。葉は羽状に切れ込み、縁はとげ状の堅い歯があり、ふれると痛いのできらわれる。葉の基部は円形で耳たぶ状。頭状花は黄色。

ノゲン(ハルノゲン)(全区、校舎の壁際) *Sonchus oleraceus* LINN.

高さ40~100cm、前種に似ている。相違点は葉の縁はとげ状だがふれても痛くない。また、葉の基部の裂片は先がとがっている。

セイヨウタンポポ(西洋蒲公英)(全区) *Taraxacum officinale* WEBER.

ヨーロッパ原産。総包片(花の下を包む小片)はくると下に反り曲るのが特徴で、エゾタンポポなどの固有種は反り曲らない。固有種はめずらしいものになった。タンポポはタンポ槍の穂の意味である。

オオバコ科

オオバコ(大葉子)(全区) *Plantago asiatica* LINN.

山野や道ばたにふつ々にみられる。グラウンドでは踏み草となっていじけた形で低く育っている。繁殖力旺盛。和名は広い葉にちなんでつけられた。

ヘラオオバコ(笹大葉子)(全区) *Plantago lanceolata* LINN.

ヨーロッパ原産、江戸末期に渡来したといわれ、特に本道に多い。本校でも前種と同じく広く分布している。葉の形が狭く、へら形。

ゴマノハグサ科

ビロードモウズイカ(天鷲絨毛蓋花)(B区) *Verbascum thapsus* LINN.

ヨーロッパ原産。本校では増えつつある帰化植物の一つ。体全体に淡黄色の細毛を密生し、さわるとビロードのようで、おしべに細毛をたくさんつけるので毛蓋花と名がついた。7~8月開花、黄色。

シソ科

ヒメオドリコソウ(姫踊り子草)(A区) *Lamium purpureum* LINN.

ヨーロッパ原産、明治中期に渡来。初夏、庭のふちや壁際に群生するようになった。臭気をもつ。茎は高さ10~25cmで直立、四角柱(シソ科の特徴)稜上に短毛がある。葉は三角状卵形で両面とも毛を散生。5~6月開花、淡紅色。花のつきかたが、輪になって踊っている踊り子にみたててこの名がついた。

ムラサキ科

ヒレハリソウ(コンフリー、鱒玻璃草)(B・C区) *Symphytum officinale* LINN.

ヨーロッパ原産。庭先や道ばた、空き地に群生するようになった。高さ60~100cm、全体に白色の短毛がある。葉は卵状皮針形、先が長くとり下部の葉柄にひれがついている。花は筒状で淡紅色。和名の鱒は茎や葉柄のひれ、玻璃(水晶)は花の色にちなんでつけられたといわれる。

モクセイ科

ヤチダモ(谷地ダモ、ダモは方言)(B区) *Fraxinus mandshurica* RUPR.
var. *japonica* MAXIM.

北海道の代表的な樹木。川辺や谷間などの湿潤地を好んで育つ。葉は奇数枚の小葉からなる羽状複葉で、小葉は対生、基部のつけねに褐色の毛が密生するのが特徴。材は弾力性、耐朽性に富み、合板、家具、バットなどに多用される。

*レンギョウ(レンギョウウツギ、連翹空木)(A・B区公務補室前と北玄関前)

Forsythia suspensa VAHL.

中国原産の庭木。早春黄花をたくさんつけて美しい。枝が長くのびてしだれる。枝の髓が中空なので空木という。

*イボタノキ(C区、弓道場の生垣) *Ligustrum obtusifolium* SIEB. et ZUCC.
高さ1~1.5 m、生垣にする。枝は灰白色で分枝し新枝には細毛がある。樹皮に白いイボタノキ虫が寄生することからイボタノキと名づけられた。

*ライラック(ムラサキハシドイ、リラ)(A・B区) *L. Syringa vulgaris* LINN.
ヨーロッパ原産。lilacは英語名、lilasフランス名。古くから芳香と花色を愛して札幌市の木となっている。この木の開花で北国の初夏がはじまる。花の色は淡紫色が主で、白・赤・青色のものがある。

ツツジ科

*ドウダンツツジ(灯台ツツジの意味)(A区) *Enkianthus perulatus* C.K. SCHN.
春、新葉とともに枝の先にスズランに似た釣鐘状の白花を下垂するツツジ。灯台ツツジは分枝の形が結び灯台の脚に似ていることに由来する。

*エゾムラサキツツジ(A・B区) *Phododendron dauricum* LINN.
ツツジの仲間でも早く開花する(5月の連休明け)。小枝は分枝し細毛がある。花は淡紅紫色で美しい。

*サツキツツジ(皀月ツツジ)(A区) *Phododendron indicum* SWEET.
高さ50~100 cm、花色は白・紅紫色、しほり咲き、八重など品種が多い。本校のは白花で6月はじめに満開し、見事な美しさである。一般に略してサツキという。

*シャクナゲ(石楠)(A区) *Phododendron* 類
庭樹、鉢植、深山には野生がある。品種多種。

セリ科

ノラニンジン(野良人参)(B区) *Daucus carota* LINN.
野菜用のニンジンが野生化したものといわれている。大形の複散形花序(からかさ状)で多数の小さい白花をつける。果実の集合がすべて内側に曲り、褐色の大きなボール状になるのが特徴。

ウコギ科

ウド(漢名が濁活、ウツローウトロに由来)(C区) *Aralia cordata* THUNB.
若い莖は美味である。最近では栽培品が市販されている。高さ1.5 m内外、茎は太く、円柱形、緑色、細毛があってまばらに分枝。葉は互生、葉柄は長く、羽状複葉で細毛がある。

アカバナ科

エゾアカバナ(蝦夷赤花)(A・B区) *Epilobium montanum* LINN.
山地の湿原、草原、道ばた、庭先に生えている。高さ15~50 cm、茎は円柱形、上部有毛。葉は長卵形、基部円形、下の方は対生、脈上および縁に軟毛がある。花は淡紅色で7~8月枝先に小さく咲く。果実は長くて裂けるし綿毛をもった長大円形の種子を多数つけるのが特徴。

アレチマツヨイグサ(荒地待宵草)(全区) *Oenothera biennis* LINN.
北米原産、明治後期に渡来したらしい。荒地、道ばたなどに生え、7~9月に黄色の花をつける。

繁殖力が強く増えている。果実はこん棒状で長さ2~3cm、ツキミソウ(月見草)というのは誤りで本道にはなく白花である。花が夕方になると咲き出すことから名がついた。

ブドウ科

- * ツタ(葛、ナツツタ)(B区公務補室の壁面) *Parthenocissus tricuspidata* PLANCH.
岩壁、山林、石垣、壁面などに生える落葉のつる植物。葉は3裂。巻ひげにある吸盤で他物に付着する。秋には紅葉するのでツタモミジとよばれ親しまれる。和名は「伝う」の意味から由来したらしい。

離弁花亜綱

カエデ科

- * イタヤカエデ(板屋楓)(B区) *Acer mono* MAXIM.
山地に生える高木。葉はいびつな五角形、5個以上に裂け、手のひらをひらいたような形である。果実は直角に開く。秋に紅葉する。板屋は葉がよく茂り、板で屋根をふいた板屋のように雨が降ってももらない意味。カエデは蛙の手の意味で葉形の類似からきた。
- * ベニシダレ(B区) *Acer palmatum* var. *dissectum* KOIDZ.
ヤマモミジの園芸品種。枝がたれさがり、年中紅葉している。葉は7~11裂に全裂し、裂片は線状。多数の品種がある。
- * ヤマモミジ(山紅葉)(A区) *Acer palmatum* var. *matsumurae* MAKINO
山地にはえる高木だが、庭園、公園などに植えられている代表的なモミジである。葉は7~9個に中央までに裂ける。中央の3片は大きく、葉柄は長い。果実は鈍角に開く。秋に紅葉。

シダ科

- * ヒメツゲ(姫黄楊)(A区) *Buxus microphylla* SIEB. et ZUCC.
ふつうはツゲという。庭園の周囲に植栽。全体が丸くなる。小枝が多く、葉は小形長だ円形で密につく。ツゲは次が変化したものといわれる。葉が層をなして密生してつきつきつくという意味らしい。

ニガキ科

- シンジュ(神樹、ニワウルシ、庭漆)(C区フェンス際) *Ailanthus altissima* SWINGLE.
中国原産、明治に並木にするために移入したもの。成長ははやい。大形の羽状複葉で小葉の基部近くに1~2個の大きな鋸歯(ぎざぎざ)があるのが特徴。神樹は tree of heaven の英訳、庭漆はウルシに似た木で庭園にみかける意味。

カタバミ科

- カタバミ(傍食)(A・B区壁際) *Oxalis corniculata* LINN.
道ばたや庭に生えている。莖は地上をはい、葉は軟かく、長柄があって3葉づつつける。花は黄色。和名は葉の先の部分がへこんで欠けているようにみえるのでこの名がついたといわれる。

フウロソウ科

- フウロソウ(風露草、ゲンノショウコ、現の証拠)(全区)

Geranium thunbergii SIEB et ZUCC. (全区)

原野や道ばたにふつうに生えている。茎は地面に伏すか直立して分枝。葉は掌状に深裂。葉と茎に毛がある。花は白色か淡紅色。現の証拠はこの草をせんじて飲むとすぐに効き目があらわれる意味で、下痢止めの薬草にする。

マメ科

* ミヤギノハギ(宮城野萩)(B区) *Lespedeza penduliflora* (OUDEM.) MAKAI

庭に植えられ、茎は東生して上部は下垂して地につくようになる。美しい花を多数つける。花色は濃紅紫色、白色など。和名は仙台市付近の宮城野に由来するとか、花の美称からつけたなどの説がある。

* ニセアカシア(偽アカシア、ハリエンジュ)(A・B・D区)

Robinia pseudacacia LINN.

北米原産。アカシア木として有名だが、アカシアとは全く別種(熱帯の木)なのでニセとつけた。枝に托葉が変化した針がある。白花を戻状につけ、果実がさや形になっているのでマメの仲間であることがわかる。

アカツメクサ(赤詰草、red clover)(全区) *Trifolium pratense* LINN.

ヨーロッパ原産。牧草として栽培。

シロツメクサ(白詰草、white clover)(全区) *Trifolium repens* LINN.

ヨーロッパ原産、徳川時代にオランダのガラスの荷造りの詰草として日本に渡来したという。牧草や芝生として育成。

クサフジ(草藤)(B区) *Vicia cracca* LINN.

荒地、道ばたに生えている。つる性で長くのびて2 mにもなる。葉は無柄、線状の小葉からなる羽状複葉、先に巻きひげがある。青紫色の蝶形花をつける。花と草全体がフジに似ている。

* ノダフジ(野田藤)(A区) *Wistaria floribunda* DC.

庭に棚をつくって育てるつる性の低木。紫色の蝶形花が鈴なりに咲き乱れる。野田は大阪の地名で、昔フジの名所であったという。また、フジは吹き散るの意味であるといわれる。

バラ科

キンミズヒキ(金水引)(D区) *Agrimonia pilosa* LEDEB.

道ばたにふつうにみられる。全体に長い毛がはえ、枝先がのびて5弁の黄色の花を密につける。果実はかき状の毛で動物にくっつき散布される。和名は細長い黄色の花穂を金色の水引に由来する。

* ボケ(木瓜)(B区) *Chaenomeles speciosa* NAKAI.

中国原産の観賞樹。そう生して短枝はしばしばとげになる。花は淡紅・紅・白色など多数で、本校のは紅色。果実はリンゴ形で直径5 cm位。

オオダイコンソウ(大大根草)(B・C区) *Geum aleppicum* JACQ.

道ばたにはえて高さ80~100 cmにもなる。茎は分枝して全体にあら毛が密生。葉は円形で3つに裂け、ふちには鋸歯(きざぎざ)がある。茎の先に黄色の5弁の花をつけ、結実すると球形になる。和名は根もとから出る葉のようすが大根の葉に似ていることに由来する。

ミツモトソウ(水源草の転)(B区) *Potentilla cryptotaeniae* MAXIM.

山地の水気のあるところに生える。茎は30~60cmや、伏みがちで全体にあら毛がある。葉は3枚つづ出てふちには鈍形の鋸歯がある。7~9月5弁の黄化をつける。

* サクランボ(桜桃、セイヨウミザクラ、西洋実桜)(B区) *Prunus avium* LINN.

ヨーロッパ原産。樹皮は黒っぽい。

* ヤエザクラ(八重桜)(B区) *Prunus lannesiana* WAL.

サクラの中で最も遅咲き。枝は逆三角形に整って広がるのが特徴。花が八重咲き。

* エゾヤマザクラ(蝦夷山桜、オオヤマザクラ)(A区) *Prunus sargentii* REHD.

代表的なサクラ、山野にも広く自生する。若葉は花のあとに芽ぶき赤味をおびる。葉はだ円形で先端がやや細く、葉柄は赤色、上部に蜜腺がある。淡紅色の花は美しい。

ハマナス(浜茄子)(B区) *Rosa davurica* PALLAS.

砂丘に多い低木、細いとげを密生。花は紅・紫紅色。和名は果実の形からついた。ハマナシ(浜梨)ということもある。

ナワシロイチゴ(苗代苺、サツキイチゴ)(C区) *Rubus parvifolius* LINN.

荒地や明るい林の中に生育。枝分れして地上を這う。枝にはとげがあつて毛が多い。葉は3枚の小葉になって裏は白い。花は淡紅紫色の5弁で、果実は数粒集って球形となって食べられる。苗代は実が熟す頃の意味である。

* ナナカマド(七カマド)(A・B区) *Sorbus commixta* HEDL.

庭に植えるほか各地の街路樹として利用。山の手通りはこれである。5~6月に咲く房状の白花は美しく、冬に赤い実を残す姿は印象的。材は堅くて燃えにくく、カマドに7度入れてもまだ焼け残る意味から名がついたという。

* ユキヤナギ(雪柳、コゴメバナ)(B区) *Spiraea thunbergii* SIEB.

中国原産。観賞用として庭に植栽。成長がはやい。高さ1~2m、束状に枝をのぼし、先はたれきみになる。雪どけ後、株全体に白花をつけ雪におおわれたように美しい。葉がヤナギに似ているのでこの名がついた。

ユキノシタ科

* ヒマラヤユキノシタ(ヒマラヤ雪の下)(A区) *Bergenia stracheyi* ENG.

早春、庭で濃桃色の花穂をつける。葉は濃紅緑色の大きな卵形で地表に伏す。

ゴトウズル(後藤蔓、ツルアジサイ)(C区) *Hydrangea petiolaris* SIEB. et ZUCC.

気根によって木や岩にのぼってつくるつる性植物。葉は対性、広卵形、基部は心臟形で先は鋭くどがる。6~7月に多数の白色両性花をつけ、そのまわりに大きな3~4個の中性花をつける。花の姿がアジサイに似ている。

ベンケイソウ科

* キリンソウ(A区) *Sedum kamtschaticum* FISH.

山地の岩上にはえているが、庭園でも多く植栽。高さ10~40cm、花茎がかたまつてはえる。葉は厚くて肉質、7月に黄色花を多数つける。

アブラナ科

ナズナ(撫菜、ペンペン草)(全区) *Capsella bursapastoris* MEDICUS.
道ばた、庭先にごくふつうに生えている。茎の先に多数の白花十字花をつける。果実が三味線のバチに以ているのでペンペン草ともいう。

イヌガラシ(犬芥)(全区) *Rorippa indica* HIERN.
荒地、道ばた、庭にひろく生える。茎は大きくよく分枝して、葉は上部のものは羽裂しない。花は黄色の十字花。和名は雑草で食用にならないという意味。

キレハイヌガラシ(切葉犬芥)(全区、B区に多い) *Rorippa sylvestris* (L.) BESSER
ヨーロッパ原産、近年に渡来し道ばたや庭に増えている。茎は地上にひろがるか斜上して高さ10~6.0cmになる。葉は羽状に深裂。花は枝の先につき小さな黄色の十字花を多数つける。果実は細い棒状。

ケシ科

クサノオウ(草の黄)(全区) *Chelidonium majus* var. *asiaticum* OHWI
日当りのよい山地や道ばたにふつうにみられる。高さ30~80cm、茎葉とも粉白をおびて切るとオレンジ色の汁がでる。黄色の花を5~7月につける。

キンボウゲ科

*オダマキ(麻手巻)(A区) *Aquilegia flabella* SIEB. et ZUCC.
庭に植栽。初夏に花茎がのびて美しい青紫色の花を下向きに咲かせる。

カツラ科

*カツラ(桂)(C区) *Cercidiphyllum japonicum* SIEB. et ZUCC.
まっすぐのびた幹から多数の枝をのぼし巨木となる。葉は広い心臟形、淡紅色の長い葉柄がある。

ナデシコ科

ウシハコベ(牛ハコベ)(B区) *Stellaria aquatica* SCOP.
全体のようなすはハコベに似ているが大形なので牛がついたものである。

ハコベ(ハコベラ)(B区) *Stellaria media* LINN.
春の七草の一つ。道ばたや庭にふつうにみられる。葉は卵円形で多数。春、枝先に白色小花を多数つける。

スベリヒユ科

スベリヒユ(滑り苺)(全区) *Portulaca oleracea* LINN.
畑や道ばたに生え、増えだすと手におえない。茎や葉は肉質、赤紫色をおび地表をはう。和名は葉がなめらかなヒユの意味。

ヒユ科

アオビユ(青苺)(B・D区) *Amaranthus retroflexus* LINN.
熱帯アメリカ原産、明治に渡来したらしい。茎は50~80cmで直立し淡緑色か紅色、短軟毛がある。花穂は黄緑色で円柱状、茎頂のものは先がとがる。

アカザ科

アカザ(赤麻の略という)(全区) *Chenopodium album* var. *centrorubrum* MAKINO
中国原産。畑、荒地や道ばたにふつうにみられる。茎は直立し、緑色のすじがあり、古くなると硬い。葉は軟かく、若葉は紅紫色の粉をつけたようにみえて美しい。和名はこの色からついた。

タデ科

ミチヤナギ(道柳)(全区) *Polygonum aviculare* LINN.

道ばたに生え柳の葉に似ている。全体が硬いのでやつかいな雑草。

イヌタデ(犬蓼)(全区) *Polygonum longisetum* DE BRUYN

原野、道ばたや畑地にふつうにみられる。高さ30~70cm、茎に毛がなく赤味をおびる。茎は広皮針形、両端がとがる。葉鞘の縁には毛がある。7~9月に円柱状の花穂をつけ、花は白または淡紅色で小さい。和名は食用にならないタデの意味。

オオイタドリ(大痛取り、ドンガイ)(C区) *Polygonum sachalinense* FR. SCHM.

高さ1~2mにもなる大形のもの、全体が粉白をおびている。葉は大形の長卵形で基部は心臟形。8~9月に多数の小花をつけた花穂ができる。和名は根茎が痛み取りの薬効があるからという意味らしい。

アキノウナギツカミ(秋の鰻掴み)(B区) *Polygonum sieboldi* MEISN

溝の近くの湿地にみられる。茎には下向きの鋭いとげがあって他の草にからみつく。花には花びらがなく、がくが5裂して上部は紅色、下部は白色になっている。

ミソソバ(溝蕎麦)(D区) *Polygonum thunbergii* SIEB. et ZUCC.

原野、山路、道ばたなどの水際に群生。茎は地をはい、稜があって細かいとげが下向きにつく。葉は卵状ほこ形、先がとがっている。がくの色が淡紅色・白色などで花びらが無い。葉の形がソバに似ているので名がついた。

ヒメスイバ(姫酸漿)(全区) *Rumex acetosella* LINN.

ヨーロッパ原産、明治初期に渡来。草地、荒地、畑地にごくふつうに生え酸性土を好む。繁殖力が強い。葉の先は鋭形、基部はほこ形。茎の先に細長い花穂をつくり、黄褐色の小花をまばらにつける。和名はすっぱい(酸味)葉の意味。

エゾノギシギシ(全区) *Rumex obtusifolius* LINN.

荒地や道ばたにふつうにみられる。高さ50~100cm、茎は直立して丈夫で赤味をおびる。7~9月に茎の先に長い穂ができ小さな紅緑色の花をつける。果実はかさかさで冬になっても残る。茎と茎をこすり合わせるとギシギシと音がするので名づけられたといわれる。

クワ科

ヤマグワ(山桑)(C区) *Morus bombycis* KOIDZ.

黒紫色の甘い実をつけるのでなじみ深い木である。葉は先のとがった卵形で大きく、3つに裂けたものもある。

ニレ科

ハルニレ(春、アカダモ、エルム)(C区) *Ulmus davidiana* var. *japonica* NAKAI

エルム (Elm) はニレの英名で北大構内のものが有名。幹は灰褐色で縦に浅く裂ける。葉は先がとがった倒卵形、基部が左右不相称なのが特徴。

ブナ科

- * クリ (栗) (B区) *Castanea crenata* SIEB. et ZUCC.

分布は岩見沢付近が北限である。樹皮は赤褐黒色、初めはなめらかだが、のちに裂け目が生じる。葉は長大円状皮針形、尖頭、ふちには波状の鋸歯がある。クリは果実の意であろうといわれる。

カバノキ科

- * シラカバ (白樺、シラカンバ) (A・D区) *Betula platyphylla* var. *japonica* HARA

公園、庭に植栽されるが、崩壊地や山火事跡などの日当りの良いところにいっせいに生える代表的な陽生樹。樹皮は白く、横に薄くはげる。4~5月に果穂は3~5cmの円柱形でたれ下がる。秋に黄葉する。

ヤナギ科

- * イタリアポプラ (改良ポプラ) (B・C・D区) *Populus euroamericana* RHED.

母種はヨーロッパ原産。成長ははやく、樹形は広三角形で枝をひろげる。葉は広三角形で長い柄があり、先はとがり、基部はほぼ直線形。種子は綿質の白毛でおおわれ、初夏に乱舞する。Populusはふるえるの意味で、風に葉がゆれることからきている。

- * ポプラ (クロポプラ) (B区) *Populus nigra* LINN.

ポプラ並樹として親しまれる。樹形は前種よりスマートで枝がひろがらない。葉はひし形に近い三角形で長柄がある。

- バッコヤナギ (婆柳、ヤマネコヤナギ) (B区) *Salix bakko* KIMURA

高木で樹皮は灰色かかった黒色。葉はだ円形、先がとがり、裏は粉白で綿毛を密生。雷どけ頃、葉が開く前に花が咲く。花穂はだ円形で太い。

- イヌコリヤナギ (犬行季柳) (D区) *Salix integra* THUNB.

湿地に多い。枝はやゝ赤味かかった黄色でまっすぐのびる。葉は対生、両端が円い長大円形、基部は茎を抱き、裏はやゝ白い。柳ごうりの材料のコリヤナギに似ているが、材料としては劣るのでイヌとついた。

- コリヤナギ (行季柳) (D区) *Salix koriyanagi* KIMURA

枝は細長くまっすぐのびる。葉は対生、線状皮針形、先は鋭くとがり、短い柄がある。枝は柳ごうりの材料。

- * ウンリュウヤナギ (A・C区) *Salix matsudana* var. *tortuosa* VILMORIN

庭で植栽。枝はねじれたり、曲ったりしてのびるのが特徴。葉は鱗形。

- ナガバヤナギ (長葉柳、オノエヤナギ) (D区) *Salix sachalinensis* FR. SCHM.

最も目につきやすいヤナギで河畔や溝辺にみられる。葉は皮針形または狭皮針形、長さ6~20cm、幅0.8~2cmで長い。花穂も長円柱状。

単子葉植物綱

アヤメ科

- * クロッカス(ハナサフラン)(A区) *Crocus vernus* WULF.
花壇、庭、鉢植として植栽。雪どけの頃、いち早く地上にのびて開花する。葉は松葉状で開花後のびる。
- * アヤメ(A区) *Iris* 類
多数の園芸品種がある。

ヒガンバナ科

- * スイセン(水仙)(A区) *Narcissus hybridus* HORT.
多数の園芸品種がある。

ユリ科

- * チュウリップ(A・D区) *Tulipa gesneriana* LINN.
Tulipa はターバンを意味するペルシャ語またはトルコ語で花形がターバンに似ていることに由来している。花べんが6枚のようだが、内側の3枚が花べんで、外側の3枚はがく片の変化したものとされ、6枚全体を花被という。花の開閉は温度の変化によっておこる。

ツククサ科

- ツククサ(露草)(全区) *Commelina communis* LINN.
庭や畑の害草、増えるとやっかいである。茎の基部は地に伏し上部は斜上する。6~9月に青紫色の花をつける。和名は朝露をおびた草の姿が目立つことに由来する。

イネ科

- カモガヤ(鴨茅, orchard grass) (全区) *Dactylis glomerata* LINN.
ヨーロッパおよび西アジア原産の牧草で野生化している。茎は直立そう生し、葉は広線形、6~7月に円すい形の緑色または暗紫色の穂をつけ、小穂は枝の側につきやすい。和名は花の穂の姿を鳥の足あとにみたてたとされている。
- メヒシバ(雌日芝)(全区) *Digitaria adscendens* HENR.
日当りのよい道ばた、空き地、荒地や畑地に最もふつうな夏雑草で群生する。節と葉鞘に長い毛がある。葉は広線形、8~9月に花茎の先に掌状に分かれた穂をつける。
- オニウシノケグサ(鬼牛の毛草)(全区) *Festuca arundinacea* SCHREB.
ヨーロッパ原産。道ばた、草地に生え群生する。茎はそう生し、高さ60~150cm、平滑で太い。葉は広線形でやや厚く無毛、長さ30~40cm、幅5~8mm。小穂は皮針形でへん平、平滑。わずかに紫色をおびる。
- ススキ(薄、カヤ)(D区) *Miscanthus sinensis* AND.
秋の七草の一つ。葉の中央に白いすじが目立つ。穂が大きくひろがった姿は美しい。すすくすのびる木(草)という意味があるらしい。
- ヨシ(キタヨシ)(D区) *Phragmites communis* TRIN.
湿潤地に広く群生する。葉は幅広く細長いし、先はとがり、裏面に伏した毛がある。

* ナガハグサ(長葉草、kentucky blue grass) (全区・芝生) *Poa pratensis* LINN.
ヨーロッパ原産で牧草や芝草として輸入したが野生化している。葉は茎の下半分に多く、質は柔らかで狭く非常に長い。5~6月に茎の先に円すい状にひろがった穂をつける。

アキノエノコログサ(全区) *Setaria faberi* HERRM.

茎は40~160cm、葉の表面と葉鞘の縁に毛がある。花穂は円柱状で10~15cm、わん曲し、黄緑色である。エノコログサとは穂で犬や猫をじらして遊ぶ犬コログサの意味でつけられた。

裸子植物門 一 球果植物綱

ヒノキ科

* ヒノキ(檜、火の木)(A区) *Chamaecyparis obtusa* ENDL.

庭木や生垣としても植栽。園芸品種が多い。葉の先は鈍形、側葉の先は少し内曲する。手ざわりはなめらかである。

* サワラ(サワラギの略)(A・D区) *Chamaecyparis pisifera* ENDL.

園芸品種が多い。前庭にあるものはシノブヒバである。葉の先はとがっており、側葉の先は内曲しない。葉の基部に白いロウ粉がある。手ざわりは硬い。

マツ科

トドマツ(トドはアイヌ語)(B区) *Abies sachalinensis* MASTERS

本道の代表的な陰生樹。樹皮はふつう灰青色で平滑。枝はやゝ平らか上向きにつく。葉の先は中央が少しくぼんでいる。

アカエゾマツ(赤叡夷松)(B区) *Picea glehnii* MASTERS

本道東部、北部に多い代表的な陰生樹。庭園樹。盆栽としても植栽。樹皮は赤茶色でりん片状にはげる。枝は下向き。葉は密につき、短い針状で先がとがっている。断面はひし形。エゾマツとともに「北海道の木」に選ばれている。

エゾマツ(B区) *Picea jezoensis* CARR.

樹皮は黒っぽい褐色でうろこ状をして前種よりなめらか。葉は平たい線形で先がとがっている。表は濃緑色、裏は白っぽい。

* バンクスマツ(B区) *Pinus banksiana* LAM.

北米、カナダ中南部原産。葉は2葉で堅く、先がとがっていて少しねじれている。長さ2~4cm。球果は堅く枝上に残っている。山火事にあっても種子は発芽力があるという。

* アカマツ(B区) *Pinus densiflora* SIEB. et ZUCC.

本道では植林。樹皮は赤味かかった茶色でりん片状にはげる。葉は針状で2葉。

* オウシュウクロマツ(A区) *Pinus nigra* ARNOLD.

ヨーロッパ中南部原産。葉は針状で2葉、長さ8~15cm、やゝねじれて曲り、先はとがって堅い。暗緑色。

* ストローブマツ(C区) *Pinus strobus* LINN.

北米北東部、カナダ中南部原産。各地で植栽。成長が早い。葉は5葉で細く柔かい。

イチイ科

*イチイ(一位、オンコ、アララギ)(A区) *Taxus cuspidata* SIEB, et ZUCC.
庭園樹として広く植栽。道東には純木がある。樹冠が美しいので好かれる。果実は赤く甘い。一位はこの材から笏(しゃく)をつくったことから位階の正一位、従一位にちなんで名づけたといわれる。オンコはアイヌ語。

*イチョウ(一葉に由来)(A・C区) *Ginkgo biloba* LINN.
中国原産。各地に植栽。種子はギンナンとよばれ食用。雌雄異株で秋の黄葉は美しい。

シダ植物門

スギナ(杉菜)(全区) *Equisetum arvense* LINN.

茎は直立し枝を輪状に開出する。ツクシはこの孢子葉で上部に孢子のう穂をつくる。地下茎で連なる。

トクサ(砥草)(C区) *Equisetum hyemale* LINN.

湿潤な陰地に群生することが多い。常緑で地上茎は直立、中空の内柱形、濃緑色で堅い。夏頃、先端にツクシの穂に似た孢子のう穂をつけのちに黄色になる。砥草は茎に多量の珪酸塩を含み表面が堅いので、木材、角、骨などをみがいたので名がついた。

参 考 図 書

札幌西高等学校：創立60周年記念誌

松木光治：郷土の植物 小樽市教育研究所

桑原義晴・松木光治・成田正規・塩川信：北方植物生態図鑑 北海道生物教育会

鮫島博一郎・辻井達一：北海道の花・北海道の樹 北大図書刊行会

北海道林務部監修：北海道の森林植物図鑑、草花編・樹木編 北海道国土緑化推進委員会

谷口弘一・三上日出夫編：北海道植物教材図鑑、野の花・続野の花 北海道新聞社

朝日新聞社編：北方植物園・続北方植物園 朝日新聞社

館脇 操・五十嵐恒夫：北海道石狩国野幌森林の植物学的研究 札幌営林局

大井次三郎：日本植物誌 至文堂

牧野富太郎：新日本植物図鑑 北隆館

長田武正：日本帰化植物図鑑

北村四郎・村田 源：原色日本植物図鑑、草本編 保育社

北村四郎・岡本省吾：原色日本樹木図鑑 保育社

富士原健二・松原幸子：標準原色図鑑全集7 園芸植物 保育社

樹種別胸高直径と本数 (55年10月測定)

樹種 分布区 直径	イタリヤポプラ				ニセアカシア				シラカバ			イチホウ			ヤエザクラ			パンクスマツ	ストロブマツ	ハルニレ	カツラ	ナナカマド	エゾマツ
	B	C	D	計	A	B	D	計	A	D	計	A	C	計	A	B	B	C	C	C	B	B	
2cm															6	7		13	11	10			
4									4	4	44		44								1	1	
6							2	2	10	10		2	2				17				1	2	
8					2	2	28	32	1	26	27	5	5	1	1	4						3	
10		1	2	3					1	9	10	6	5									3	
12		1	1	2		3		3	2		2	1	1									1	
14		1		1		2		2	2		2	1	2	3								1	
16			3	3					2		2	1	1		2							1	
18			1	1					3		3												
20			1	1																			
22			3	3																			
24			4	4																			
26	1	1	7	9					1		1												
28	1		4	5					1		1												
30			5	5																			
32		7	1	8																			
34		2	4	6																			
36	1	2	5	8																			
38		5	5	10																			
40		11	9	20																			
42	1	2	8	11																			
44		1	4	5																			
46	3	4	1	8																			
48			4	4																			
50		1	6	7																			
52	2	3	3	8																			
54	1		1	2																			
56	1			1																			
58	1			1																			
60																							
本数	12	42	82	(136)	2	7	30	(39)	13	49	(62)	46	15	(51)	7	10	21	13	11	11	7	6	
平均直径	46	38	36	37																			

樹種 分布 区	種別																	
	アカエノマツ	トドマツ	オオシニウクロマツ	アカマツ	イチイ	サワラ	ヒノキ	ヤマノコヤナギ	ウツリノウヤナギ	ナガバヤナギ	ボブ	ヤマモミジ	イタヤカエデ	エゾヤマザクラ	ヤチダモ	サクランボ	ク	ウ
後	B	B	A	B	A	AD	A	B	AC	D	B	A	B	A	B	B		
2cm																		
4	1	4						1		1								
6	1					1 1												
8					1	1 1								1				
10		1				1 1	2	1			1	1			2			
12								1					1					
14																		
16											1			1		1	1	
18								1	1						1			
20					2				1		1							1
22																		
24																		
26																		
28																		
30																1		
32				1														
34																		
36			1															
38																		
40																		
42																		
44																		
46																		
48																		
50																		
52																		
54																		
56																		
58																		
60																		
本数	2	5	1	1	3	6	2	4	2	1	3	1	1	2	3	2	1	1

植物名索引

〔ア〕

アオビユ	11
アカエゾマツ	15
アカザ	12
アカツメクサ	9
アカマツ	15
アキザクラ	5
アキノウナギツカミ	12
アキノエノコログサ	15
アヤメ	14
アレチジシャ	5
アレチマツヨイグサ	7
イタヤカエデ	8
イタリヤボブラ	13
イチイ	16
イチョウ	16
イヌガラシ	11
イヌコリヤナギ	13
イヌタデ	12
イボタノキ	7
ウシハコベ	11
ウド	7
ウンリュウヤナギ	13
エゾアカバナ	7
エゾゴマナ	4
エゾノギシギシ	12
エゾノコンギク	4
エゾマツ	15
エゾムラサキツツジ	7
エゾヤマザクラ	10
エゾヨモギ	4
オウシュウクロマツ	15
オーチャードグラス	14
オオアワダチソウ	5
オオイタドリ	12

オオダイコンソウ	9
オオバコ	6
オオハンゴンソウ	5
オオヨモギ	4
オダマキ	11
オニウシノケグサ	14
オニノゲシ	5
オノエヤナギ	13
オンコ	16

〔カ〕

改良ボブラ	13
カタバミ	8
カツラ	11
カモガモ	14
キタヨシ	14
キリンソウ	10
キレハイヌガラシ	11
キンミズヒキ	9
クサノオウ	11
クサフジ	9
グリ	13
クロッカス	14
クロボブラ	13
ケンタッキー-ブルー-グラス	15
ゲンノショウコ	8
コゴメバナ	10
コスモス	5
ゴトウズル	10
ゴボウ	4
コリヤナギ	13
コンフリー	6

〔サ〕

サクランボ	10
サツキツツジ	7

サワラ	15
シノブヒバ	15
シャクナゲ	7
シラカバ	13
シロツメクサ	9
シンジュ	8
スイセン	14
スギナ	16
ススキ	14
ストローブマツ	15
スベリヒユ	11
セイタカアワダチソウ	5
セイヨウタンポポ	6
セイヨウミザクラ	10

〔タ〕

ダリア	5
タンポポモドキ	5
チュウリップ	14
ツタ	8
ツルアジサイ	10
ツユクサ	14
ドウダンツツジ	7
トクサ	16
トゲチシャ	5
トドマツ	15
ドンガイ	12

〔ナ〕

ナガハグサ	15
ナガバヤナギ	13
ナズナ	11
ナツツタ	8
ナナカマド	10
ナワシロイチゴ	10
ニセアカシア	9

ニワウルシ	8
ノゲシ	5
ノダフジ	9
ノブキ	4
ノボロギク	5
ノラニンジン	7

[ハ]

ハコベ	11
バッコヤナギ	13
ハナサフラン	14
ハマナス	10
ハリエンジュ	9
ハルニレ	12
ハルノノゲシ	5
バンクスマツ	15
ヒノキ	15
ヒマラヤユキノシタ	10
ヒメオドリコソウ	6
ヒメジヨオン	5
ヒメスイバ	12
ヒメツゲ	8
ヒメムカシヨモギ	5
ヒレハリソウ	6
ピロードモウズイカ	6
フウロソウ	8
フジ	9
ブタナ	5
ベニシダレ	8
ヘラオオバコ	6
ベシベングサ	11
ボケ	9
ポプラ	13

[マ]

ミゾソバ	12
ミチヤナギ	12

ミツモトソウ	9
ミヤギノハギ	9
ムラサキハシドイ	7
メヒシバ	14

[ヤ]

ヤエザクラ	10
ヤチダモ	6
ヤマグワ	12
ヤマネコヤナギ	13
ヤマハハコ	4
ヤマモミジ	8
ユキヤナギ	10
ヨシ	14

[ラ]

ライラック	7
リラ	7
レンギョウ	6